

北海道ポーランド文化協会 会報 POLE 第 1 ～ 53 号目次

(敬称略)

創刊号 (1987.11.16) 北海道ポーランド文化協会設立総会 (1987.10.2) 開かれる／今村成和「発起人代表のあいさつ」／熊倉ハリーナ「《ポ文協》の設立をお祝いします」／灰谷慶三「設立の経緯」／遠藤道子「私とポーランド～22年前のワルシャワ」／小林暁子「カーシャの贈り物」／馬場恵美子「エスペラント語～ザメンホフ生誕百年記念大会に参加して」／創立記念講演会・伊東孝之「日本の武士とポーランドのシラフタ」、藤原勲夫「ポーランドの義務教育をかいまみて」(1987.11.28)のお知らせ／国際交流プラザサロンディスカッション「最近のポーランド事情」(イエジー・マレク・ルジンスキ, 1987.11.19)の案内／伊東孝之「ポーランド・クロニクル 1987.7.31～10.14」

第2号 (1987.12.30) 第2回例会「シマノフスキ～人と音楽」(講演マリア・マティ、ピアノ演奏：中村玲子、大和田りえこ, 1988.1.23)のお知らせ／佐々木秀明「スタシスさんのこと」／藤原興生「夢の民族・未知の言語」／ショパン全曲演奏シリーズ第13回(1988.3.18)、第6回北海道ショパン学生コンクール(1988.4.29)のお知らせ

第3号 (1988.3.2) 第3回例会「ポーランド語の世界」(ボズナン大学言語学研究所所長イエジー・バンチェロフスキ, 1988.3.12)のお知らせ／第4回例会「キュリー夫人の業績と生涯～生誕百周年にあたって」(ウッチ工科大学前学長イエジー・クロー, 1988.3.26)のお知らせ

第4号 (1988.8.31) 第4回例会ポーランド・日本協会会長クロー教授の講演行われる～キュリー夫人の業績と生涯／ショパン音楽祭(1988.9.13)のお知らせ／第2回総会・ポ文協創立1周年記念パーティー(1988.10.17)のお知らせ／ポーランド日本協会ウッチ支部より「文通して下さい」／伊東孝之「ポーランド・クロニクル 1987.11～1988.7.16」

第5号 (1989.2.16) 本の紹介(1)伊東孝之著『ポーランド現代史』(高岡健次郎)・(2)米川和夫訳『北の十字架～ポーランド詩集』／ポーランド航空チャーター便の案内

第6号 (1989.4.19) 本間富雄「ポーランドと私」／「読者からの手紙」吉田邦子(当時ウィーン在住)／ポーランド・日本協会だより「日本のみなさまへ」／行事案内：パデレフスキ・シマノフスキ作品演奏会(1989.7.21)、ギェルジョート・ピアノ演奏会(1989.9.17 札幌, 9.18 帯広)、マゾフシェ舞踏団(1989.11.17)／第1期「楽しく学ぶポーランド語」教室(1989.5.9～7.11)のお知らせ／第5回例会・ポーランド映画の世界(第一回)～ワイダ監督「地下水道」上映会(1989.5.27)のお知らせ

第7号 (1989.7.4) 霜田千代磨「我が心のポーランド」／第7回例会「ポーランドの演劇(仮題)」(ヤドヴィガ・ロドヴィチ)のお知らせ／灰谷慶三「大作家プルスについて～《人形》上映会に寄せて」／第8回例会・ポーランド映画の世界(第二回)～プルス原作・ハス監督「人形」上映会(1989.9.30)のお知らせ／イエジー・トマシェフスキ「札幌滞在～最初の一週間」／伊東孝之「総選挙で《連帯》市民委員会圧勝」／大井清美「ポーランド語講習会に参加して」／クシシュトフ・ヤブウォンスキ・ピアノリサイタル(1989.7.7)のお知らせ／第2期「楽しく学ぶポーランド語」教室(1989.9.5～)のお知らせ／伊東孝之「ポーランド・クロニクル 1988.7.12～1989.6.21」／スラブ研究センター研究員としてトマシェフスキ教授が札幌滞在／第6回例会「ポーランドにおける選挙～今後の見通し」(イエジー・トマシェフスキ, 1988.7.22)のお知らせ

第8号 (1989.8.9) 第7回例会「ポーランドの舞台女優ヤドヴィガ・ロドヴィチさんと語る会」(1989.8.30)のお知らせ／ポーランド語講習会の生徒募集／灰谷慶三「ポーランド映画の世界(第二回)～プルス原作・ハス監督《人形》について」

第9号 (1989.11.2) 第3回総会(1989.10.16)報告／ポーランド・日本協会の「日本週間」プログラム／伊東孝之「ポーランド・クロニクル 1989.6.21～9.14」／ポ文協創立2周年記念エリザベータ・ステファンスカ・ハーブシコード・リサイタル(1989.11.6)のお知らせ

第10号(1990.1.25)吉田宏「クロー先生のことなど」/第10回例会「ポーランドの画家スタシスと語る会～芸術家と今のポーランド」(1990.2.7)のお知らせ/1989年役員名簿/伊東孝之「ポーランド・クロニクル1989.9.11～10.31」ルーマニア軍事介入を主張、共産党と農民党・離合集散の動きが激化、国民に耐乏生活を求める、ソ連・非介入を約束/第3期「楽しく学ぶポーランド語」講習会(1990.2.6～4.10)のお知らせ

第11号(1990.5.11)富山信夫「26年前のこと」/小見アンナ「札幌に住み始めて」/ポーランドからの手紙/第4期「楽しく学ぶポーランド語」教室(1990.5.22～7.24)のお知らせ/伊東孝之「ポーランド・クロニクル1989.11.1～23」韓国と国交、平均寿命男67才・女75才、西独首相訪問、土曜日も働いて欲しい、日本からの援助を、ヤルタの再来ではない、海部首相の訪問決定、実勢レート・ドル6800ズロチ、マゾヴェツキ初訪ソ

第12号(1990.9.29)第3[4]回総会・創立3周年コンサート(1990.10.28)のお知らせ/「ポーランド週間」に助成金/第5期「ハリーナさんを囲む楽しいポーランド語」教室(1990.10.2～12.11)のお知らせ/ポ文協後援「守り続けられた日本美術～ポーランドの〈NIPPON〉展～クラクフ国立美術館所蔵ヤシェンスキ・コレクションを中心として」(1990.11.24～12.2)のお知らせ/新入会員のお知らせ/「ポロニカ」創刊号の紹介

第13号(1990.12.27)吉本康子「クラコフに想う」/ポ日協会の吉田さん札幌へ/第13回例会「吉田勝一さんを囲む会」(1991.1.10)のお知らせ/第3[4]回総会報告/第6期「ハリーナさんを囲む楽しいポーランド語」教室(1991.1.23～3.27)のお知らせ/ポーランド週間に多彩な提案/実行委員会づくりへ/第14回例会・ポーランド映画の世界(第四回)～ポーランドの巨匠たちの夜明け～ウッチ映画大学卒業製作展(1991.1.25～29)のお知らせ

第14号(1991.5.14)6月にポーランド週間～講演会、展示会、料理講習会など多彩な催し/「ポーランド週間」(1991.6.17～29)行事案内/第7期「ハリーナさんを囲む楽しいポーランド語」教室(1991.5.15～7.17)のお知らせ/ポーランド日本協会8年の歩み/ドロータ・ラスコフスカ「そろばんきょうしつにはじめてかよって」(日本語教室生徒の作文)

第15号(1991.9.5)ポーランド週間を終えて/小笠原正明「伊東孝之氏の講演に参加して」/第8期「ハリーナさんを囲む楽しいポーランド語」教室(1991.9.11～)のお知らせ/灰谷洋子「好評だったポーランド料理講習会」/柏原朝子「内田莉沙子氏の講演を聞いて」/安田誠子「遠藤道子氏の《国際ショパンコンクール》の歴史》を聴いて」/ポーランド国立放送交響楽団演奏会(1991.11.19)のお知らせ/赤島尚子「ポーランド国立放送交響楽団北海道公演に寄せて」

第16号(1991.10.31)第5回総会(1991.11.8)のお知らせ/熊倉ハリーナ「いもだんご～ポーランドの食習慣」/ビゴスの作り方/ポーランド国立放送交響楽団演奏会のお知らせ/第15回例会「クレセントムーン絵本原画展」(1991.11.1～24)のお知らせ/やさしいポーランド語会話/富山信夫「日本の米とポーランドのパン」

第17号(1992.1.13)第5回総会報告「新年度へむけて第一歩を」/スタシスおおいに語る/事務局が河合楽器に移転/第9期「ハリーナさんを囲む楽しいポーランド語」教室(1992.1.22～3.25)のお知らせ/第16回例会「ポーランド文学の新しい潮流」(エドワード・モジェイコ,1992.1.25)のお知らせ/「ガイクとショパン～ポーランド舞踊とショパンの夕べ」(1992.2.5～7)のお知らせ/ザボトニク・ピオトル「琥珀～北方の金」

第18号(1992.5.7)ポーランド大使歓迎パーティー(1992.5.22)へのおさそい/第1回運営委員会(1992.3.19)報告/ショパン愛好会設立/第10期「ハリーナさんを囲む楽しいポーランド語」教室(1992.5.13～7.15)のお知らせ/三浦洋「ショパンとノルヴィット」

第19号(1992.8.10)「和やかに懇談～駐日ポーランド共和国大使ヘンリク・リプシッツ氏の歓迎パーティー」/ヘンリク・リプシッツ「北海道ポーランド文化協会の歓迎レセプションによせて」/小笠原正明「ストラドフスキ氏を想う」/清水保子「ポーランド点描～ワタさんにインタビューをして」/ラジオ講座「文明の十字路～東欧」(1992.10.28～)のお知らせ/第11期ポーランド語講習会の予定(1992.9.9～)

第20号(1992.10.9)第17回例会・講演会とビデオ上映会「ポーランドの女たち」(安藤千鶴子,1992.10.20)のお知らせ/本間富雄「安藤千鶴子氏

のプロフィール紹介」／第6回総会(1992.11.9)のお知らせ／熊倉ハリーナ「ポーランドで見たこと感じたこと～3年ぶりの里帰り」／ワルシャワ国立フィルハーモニー管弦楽団演奏会(1992.11.17)のお知らせ

第21号(1992.12.9)第6回総会報告／第18回例会・ポーランド映画「叫び」特別上映会(1992.12.19)のお知らせ／三浦洋「交流が音楽を豊かにする～カジミェシ・コルト氏に聞く」

第22号(1993.3.5)第19回例会「現在のポーランド」(伊東孝之, 1993.3.13)のお知らせ／三沢民子「ピスワとジャウカ」／斎田道子「アンナ・ワタさんにきく～ポーランドの学校では」／やさしいポーランド語会話

第23号(1993.8.4)第20回例会「ポーランドの代表的作曲家の作品～ピアノジョイントコンサート」(1993.8.20)のお知らせ／ヨーランタ・ルジンスカ「音楽と私」／ポ文協後援ラファウ・ウシチェフスキ・ピアノリサイタル(1993.11.5)のお知らせ／日本ショパン協会北海道支部設立20周年記念「ショパン音楽祭」(1993.9.20)のお知らせ／ポーランド・ポスター100年展(道立帯広美術館1993.8.14～9.12)のお知らせ

第24号(1993.12.15)第7回総会・懇親会(1993.10.12)報告／國田祐作「絵の運命」／霜田千代磨「壊れ壇のミラーボール～ポーランド随想」／足達和子「ポーランドに日本の詩を紹介するまで」

第25号(1994.5.7)運営委員会・今村先生が学士院会員になられたお祝いの会(1994.1.30)報告／吉田邦子「ポーランド年末・年始」／急報・ポーランド訪問団計画まとまる／やさしいポーランド語会話／國田祐作「クラクフ・日本美術センター建設募金のお願い」

第26号(1994.7.6)第1回ポーランド訪問団(1994.9.5～15)参加募集／運営委員会(1994.7.1)報告／ポ文協後援田隅靖子ピアノリサイタル(1994.8.26)のお知らせ

第27号(1994.8.10)第21回例会「社会主義崩壊後ポーランドの生活世界」(吉野悦雄, 1994.8.19)のお知らせ／斎田道子「考古学を学ぶアンナさん」／「ワルシャワ散歩」／田隅靖子ピアノリサイタルのお知らせ

第28号(1994.11.11)第8回総会・懇親会・遠藤先生の北海道文化賞ご受賞を祝う会(1994.11.29)のお知らせ／國田祐作「ポーランド文化協会後援のピアノリサイタル開催される」／第22回例会「ポーランドのクリスマスと料理を楽しむ会」(1994.12.3)のお知らせ

第29号(1995.1.12)第8回総会・懇親会報告／谷本一之「ご挨拶」／第22回例会「ポーランドのクリスマスと料理を楽しむ会」報告／第23回例会「ポーランド訪問団報告会」(1995.1.28)のお知らせ

第30号(1995.5.24)ポーランド訪問報告集～小笠原正明「豪華な顔ぶれのツアー」／栗原朋友子「大きな歴史を持つ小さな町」／大和田えり子「ポーランド旅行での思い出」／米光幸子「ポーランドの旅を終えて」／三浦洋「ショパンの巣」／池田町修学旅行(1995.9.30～10.1)の案内／栗原成郎「塩の来た道～ヴィエリチカの伝説より」／藤平隆「ポーランド旅行の思い出」／小林暁子「私とカーシャのグダンスク」／富山信夫「ポーランドの物価」(「ポリティカ」より)／新刊書「ワルシャワリビングガイド」の紹介

第31号(1995.9.20)第9回総会・懇親会(1995.10.11)のお知らせ／三浦洋「ミツキエヴィチのバラードからショパンのバラードへ」／小林暁子「ウッチの吉田さんを迎えて」

第32号(1995.11.9)第25[24]回例会「ポーランド・クラクフのチャルトリスキ美術館とレオナルド・ダ・ヴィンチの作品について」(國田祐作, 1995.11.25)のお知らせ／第26[25]回例会「ポーランド料理を楽しむ会」(熊倉ハリーナ, 1995.12.2)のお知らせ／第9回総会報告／栗原朋友子「私のある日の十勝日誌」／大和田えり子「まきばの家・ワインまつり」

号外(1995.12.25)第9回総会・懇親会報告

第33号(1996.2.16)第26回例会「ポーランド時代のショパン」(三浦洋, 1996.3.8)のお知らせ／霜田千代磨「おそまき池田町紀行」／藤平隆「池田町来訪のお礼」／安田文子「憧れの国ポーランドに留学して」／「ポーランドあれこれ」(「ポリティカ」1995.12.30, 1996.1.20より)

第34号(1996.7.12)熊倉ハリーナ「暮らしやすく

なったポーランド」／第26 [27] 回例会「ポーランド～96年5月」(花摘泰克, 1996.7.22)のお知らせ／創立10周年記念コンサートと映画「コルチャック先生」のビデオ鑑賞会のお知らせ／来年のポーランドツアーを企画／ポーランド情報(「ポリティカ」1996.4.20, 5.1より)／読者の欄・柏木由美子「ポプラの綿毛」／戸田長祐「窓口のつぶやき」／吉田邦子「嬉しい出来事」

号外(1996.9.12)第27 [28] 回例会・映画「コルチャック先生」(霜田千代磨, 1996.9.28)のビデオ鑑賞会のお知らせ／遠藤道子さんに北海道開発功労賞／ポーランド語入門コース開催(1996.10.9～)のお知らせ／第28 [29] 回例会・第2回ポ文協修学旅行～池田町ワインまつりツアー(1996.10.5～6)のお知らせ

第35号(1996.11.1)吉田宏「今村成和先生の死を悼む」／創立10周年記念コンサート(1996.11.8)のお知らせ／第10回総会・懇親会(1996.11.28)のお知らせ／富山信夫「ポーランド語講習会の歩み」／佐々木保子「池田町ワイン祭りツアーに参加して」／来年のポーランドツアーを計画中／ポーランドの物価について(「ポリティカ」1996.1.6より)／ピオトル・パレチニ・ピアノリサイタル(1996.11.5)のお知らせ

第36号(1997.4.18)第31回例会「創立10周年記念ポーランドの旅」(1997.10.4～12)のお知らせ／栗原朋友子「ある日の旅だより」／安田文子ピアノリサイタル(1997.6.18)のお知らせ／1996-97年度総会・懇親会報告／マジェーナ・ティムチョ「紋別のグルメ」／第23期「すぐ役に立つポーランド語」講習会(1997.5.28～)のお知らせ／最近のポーランドの物価(「ポリティカ」1997.1.11より)／第30回例会「ショパンについて(仮題)」(三浦洋)のお知らせ

第37号(1997.7.1)第30回例会「フランス時代のショパン」(三浦洋, 1997.7.11)のお知らせ／創立10周年記念第2回ポーランドの旅(1997.10.4～12)に27人の参加希望者／第24期「すぐ役に立つポーランド語」講習会(1997.8.27～)のお知らせ／ポーランドの物価の推移(「ポリティカ」1997.1.11より)／創立10周年記念コンサートの収支／ポーランド語会話「ポーランドへ行きましょう」

第38号(1997.11.1)松井俊和「ポーランド訪問団に参加して」／ウッチの交流会に150名の観客／

依田明倫「ポーランドの鷺鳥と犬」／第11回総会・懇親会(1997.11.28)のお知らせ

第39号(1998.4.10)吉野悦雄「バブル景気のポーランド」／第25期ポーランド語講習会(1998.5.13～7.15)のお知らせ／國田祐作「ポーランド美術散歩(1)」／三浦洋「1840年のショパンと時代精神(1)」／富山信夫「ポーランドの国始伝説」／今後の活動について／遠藤郁子とマリア・ポミャノフスカ演奏会(1998.6.18)のお知らせ／カジメシ・ギェルジョート演奏会(1998.5.21)のお知らせ／バザーに協力を／最近のポーランドの物価(「ポリティカ」1998.1.10より)

第40号(1998.9.10)第32回例会「ポーランド料理を楽しむ会」(1998.7.4)を終えて／國田祐作「ポーランド美術散歩(2)」／三浦洋「1840年のショパンと時代精神(2)」／第26期ポーランド語講習会(1998.10.7～11.25)のお知らせ／第33回例会・ビデオによる映画鑑賞会「ふたりのベロニカ」(本間富雄, 1998.9.27)のお知らせ／第12回総会と第34回例会「ショパンについて(最終回)」(1998.10.17)のお知らせ／クラクフ・日本センターへの寄付について／クラクフ・日本センター長からの手紙

第41号(1998.12.10)伊東孝之「やさしいポーランド史(1)」／第35回例会「ポーランドにおける日本文学の現状について」(ミコワイ・メラノヴィチ, 1999.1.16)のお知らせ／栗原朋友子「クラクフからカシュープまで～わたくしのポーランド熱」／富山信夫「桜咲く国」／國田祐作「ポーランド美術散歩(3)」／三浦洋「1840年のショパンと時代精神(3)」／1998-99年度総会・懇親会報告

第42号(1999.5.30)國田祐作「ポーランド美術散歩(4)」／第27期ポーランド語講習会(1999.5.12～)講師のご紹介(高岡美保、マジェーナ・ティムチョ)／第35回例会「メラノヴィチ先生の三つのお土産」報告(霜田千代磨)／第36回例会「ポーランド演劇の現状について～ヤドヴィガ・ロドヴィチ女史の講演」(1999.3.2)報告(霜田千代磨)

第43号(1999.8.30)伊東孝之「やさしいポーランド史(2)」／第38回例会「ポーランドのフォークダンスの夕べ」(1999.10.11)のお知らせ／第37回例会・ビデオによるポーランド映画鑑賞会「聖週間」(本間富雄, 1999.9.25)のお知らせ／本間富雄「聖週間とユダヤ人問題」／岡田照幸「アオモリ・ミュージック・フェスティバル」／第28期「すぐに役に立つ

ポーランド語」講習会(1999.9.29～11.24)のお知らせ／ポーランドからの便り(山川素子、長野明美)／1998年度ポーランドの物価(「ポリティカ」1999.1.9より)／「日本・ポーランド友好ヤングピアニストの競演」(1999.11.12)のお知らせ／チャリティーバザー(1999.6.12)について

第44号(2000.1.25)栗原成郎「水の精の予言(ワルシャワの起こり)～ポーランドの都市の伝説①」／第29期ポーランド語講習会(2000.5.17～7.5)のお知らせ／第39回例会・ビデオによるポーランド映画鑑賞会「鷲の指輪」(本間富雄, 2000.2.18)のお知らせ／本間富雄「鷲の指輪とゲームの理論」／斎田道子「ユゼフ・ヴィルコンの世界」／1999-2000年度総会報告

第45号(2000.6.10)栗原成郎「古都の竜とカラス(クラクフ)～ポーランドの都市の伝説②」／第14回総会(2000.10.13)のご案内／第41回例会・ビデオによるポーランド映画鑑賞会「トリコロル・青の愛」(本間富雄, 2000.8.1)のお知らせ／本間富雄「あなたの愛は何色」／アレクサンドラ・モクシンスカ「札幌でおもうポーランドのこと」／山川素子「輝く春」／北海道に灰が降った(「ジェチポスポリタ」2000.4.1より)／1999年ポーランドの物価と購買力(「ポリティカ」2000.1.8より)／安藤厚「ポーランドはこんなに変わった～第40回例会で松本照男さんが講演」／北海道ポーランド文化協会創立15周年記念2001年ポーランド・ハンガリーへの旅のお誘い

第46号(2000.10.1)栗原成郎「カジミェシ大王とユダヤ人女性エステルカ～ポーランドの都市の伝説③」／第14回総会・懇親会のお知らせ／富山信夫「ワルシャワで北海道ポーランド文化協会～乾杯！」／創立15周年記念ポーランド旅行について／ポーランド料理レシピ集頒布のお知らせ

第47号(2000.12.15)栗原成郎「聖スタニスワフと殉教～ポーランドの都市の伝説④」／第42回例会「ポーランド料理を楽しむ会」(2001.3.31)のお知らせ／三浦洋「谷本会長の『アイヌ絵を聴く』毎日出版文化賞を受賞」／遠藤郁子「ポーランドで思ったこと」／山川素子「ショパンの秋」／ポーランド語講習会30期を終えて／OG通信・ワルシャワでポーランド語同窓会／第44回例会・第3回ポーランド旅行(2001.8.30～9.9)のご案内／第14回総会報告：本年度の事業計画決まる／会費値上げについて

第48号(2001.6.1)小原雅俊「知られざるポーランド(1)」／ポーランド旅行のご案内／三浦洋「映画『パン・タデウシュ物語』の見どころ」／第43回例会「パン・タデウシュ物語」講演会(三浦洋, 2001.6.14)のお知らせ／斎田道子「第42回例会ポーランド料理を楽しむ会を終えて」

第49号(2001.10.15)小原雅俊「知られざるポーランド(2)」／渡辺洋子「懐かしのポーランド旅行」／佐光伸一「クラクフ留学記」／第15回総会(2001.11.30)のお知らせ／ステファンスカ追悼演奏会(2001.11.12)のお知らせ

第50号(2002.6.1)小原雅俊「知られざるポーランド(3)」／佐光伸一「21世紀の亡命者たち」／ポーランド国立民族舞踊団シロンスク公演(2002.9.26)のお知らせ／ピアノコンサート(2002.9.28)のお知らせ／第15回総会報告：本年度の事業計画決まる

第51号(2002.9.10)柏倉涼子「ポーランド滞在記」／スワヴォミル・マズール「ポーランドと似た北海道の森や動物」／三浦洋「ショパンと名の日く上」／第45回例会「ポーランド時代のショパンとその作品」解説と演奏(道立近代美術館, 2002.9.28)のお知らせ／第16回総会(2002.10.4)のお知らせ

第52号(2003.3.25)菊地多美絵「恋のお相手は…」／灰谷慶三「ポーランド文化協会設立15周年を祝って」／遠藤郁子「ハリーナ・チェルニー・ステファンスカ先生を悼んで」／三浦洋「ショパンと名の日く下」／ピアノコンサート報告～200人を超す盛況／富山信夫「懐かしいバルシチの味」／第16回総会報告：事業計画と新役員決まる

第53号(2003.9.30)安藤むつみ「ワルシャワ滞在記」／三浦洋「第46回例会報告・穏やかだったシュピルマンの晩年～佐藤泰一さんが講演」／15周年記念誌の編集作業進む／久し振り、ポーランド語教室の集り(2003.9.10)の報告(世話人・富山信夫)／第17回総会・懇親会(2003.10.17)のお知らせ／懇親会で舞をご披露してくださる竹内実花さんの紹介「私のポーランドとの出会い…」

あとがき

◇みなさまのご尽力で十五年史ができて、本当にうれしく思います。「ポール」には創刊の頃から関係していましたが、編集しながら素晴らしいと感じた記事が多くありました。その総集編ですから、面白くないはずがありません。

協会の発起人の一人で長く事務局長をつとめられた吉田宏先生に、本誌をお見せできずに残念です。吉田先生は、「ポール」はいかにもポ文協らしい」といつも誇りにしておられました（小笠原正明）。

◇ポーランドの画家の方たちをホームステイでお世話したのがきっかけで会員になって16年。この間、ポーランドの大きな変動を、ポールを通して詳しく知ることができ、また文化や芸術、人々の生活に直接触れる機会がたくさんありました。

記念誌の編集にかかわることで、ポールを読み返してみましたが、一生懸命企画した行事の数々、訪問者、旅行などを次々に思い出し、ポ文協の奥の深さを改めて感じました（小林暁子）。

◇このたびは、この十五周年記念誌の編集委員を努めさせて頂き、POLE

第1号から現在までに掲載された、ほとんど全ての記事を読む機会に恵まれました。ポーランドの政治経済、文化、歴史について、また人々の交流など、貴重な体験がぎっしり詰まった一冊になりました。この記念誌がポーランドとの交流の道標となり、今後の活動がますます発展してゆくことを願っております（小林美保）。

◇ポール編集を担当して、一番の役得は、多数のポーランド人にお会いできたことです。そして、この十五年の間のポーランドの大変革を、取材を通して、身近に感じられたことは、貴重な体験となりました（佐々木保子）。

◇この記念誌を編集するにあたって、創刊号から最近号まで目を通してみて、それぞれの分野のポーランド通の会員による、豊富な内容に改めておどろきました。ほとんど全部を記念誌として残せたとおもいます。「この記念誌一冊でポーランド通になれますよ」と宣伝したい気持ちです（斎田道子）。

◇本誌刊行までの経緯を簡単に記しておきます。北海道ポーランド文化協会は、一九八七年十月二日に設立され、二〇〇一年秋～二〇〇二年秋の年度が十五年目の活動期間となりました。そこで、十五周年記念誌を

発刊してはどうかという提案が出され、会誌POLEの編集委員を中心に構想が練られました。

実務的な作業に着手したのは二〇〇三年で、下記のメンバーから成る編集委員会が設けられ、三月二十六日に第一回の会合を持ちました。以後、第五十三号までのPOLE全号を通読することから始め、分担して作業を進めました。

また、表紙のデザインは画家、美術史家でおられる國田祐作先生にお願いして、ポーランドの風物をあしらった素晴らしい表紙を作成して頂きました。

完成した本誌を見ていううちに、ポーランドの民話を思い出しました。その昔、バルト海の奥底に琥珀の城があり、それが壊れたために今では海からかけらがたくさん見つかるという話です。百余りの文章がポーランドの多面的な表情を映し出す本誌は、復元された琥珀の城なのかもしれません。関係各位のご協力に深く感謝申し上げます（三浦洋）。

◇たいへん遅れましたが、ようやく記念誌が完成し、ほっとしています。多くの方々の思いが詰まった貴重な一冊です。ポ文協の活動が次のステップへと発展するための礎となればと願っています（安藤厚）。

POLE

北海道ポーランド文化協会創立 15 周年記念誌
2003.12.25

発行 灰谷慶三（会長）
北海道ポーランド文化協会
〒069-0851 江別市大麻園町 28-18
小笠原正明（事務局長）
電話 011-386-3405
FAX 011-387-9016

記念誌編集委員

灰谷慶三（委員長）
安藤厚 小笠原正明
小林暁子 小林美保
斎田道子 佐々木保子
三浦洋
表紙デザイン
國田祐作

印刷 (株)アイワード